

02 柿ノ木谷川

課題 水質汚濁が顕著（畜産廃水が流入）。



03 大日川水系中下流部

保全 平地の中小河川としては、堰湛水域が比較的少ない。多様な生物が生息する。

課題 平瀬が長く続き、淵は井堰の直下に限られる。瀬・淵の変化に乏しく、河川形態が単調。一部区間では、横断工作物が高い密度で分布する（牛内川中下流部・馬乗捨川中上流部など）。下流部は、低水護岸率が高すぎる。全般に、水質汚濁が顕著。強い濁りが頻繁にみられた。中流部より下流側は水温が33℃を超える高水温。

01 河口部～三原川・大日川下流部

保全 汽水性・通し回遊性*1の魚類・底生動物の希少種が分布する。

課題 低水護岸率が高く、水辺が単調。



05 三原川下流部

保全 河岸にヨシ原が広がる。三原川水系で確認された唯一のヨシ群落。汽水性の希少魚類が多い。



06 倭文川水系

保全 上流部では、希少な昆虫がみられた。

課題 瀬・淵の変化に乏しく河川形態が単調。上流部では、横断工作物が高い密度で分布する。水質汚濁が顕著（畜産排水が流入）。強い濁りが頻繁にみられた。底生動物の種数はきわめて少ない。

07 成相川中流部（養宜川合流付近）

保全 平瀬が多いなかにおいて、淵が認められ、河川形態が比較的良好的。

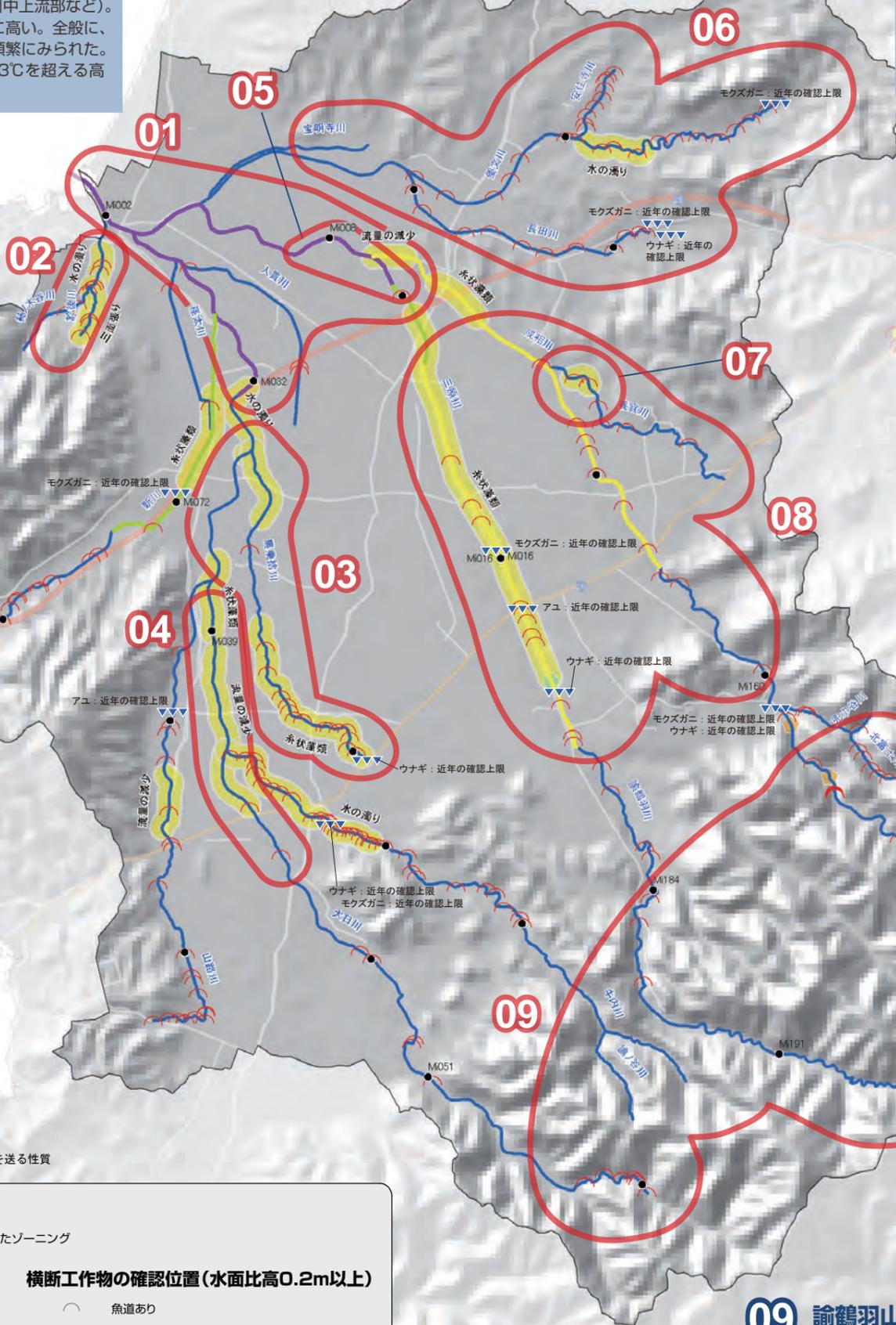
08 三各支川の上流部（諭鶴羽山系）

保全 平地の中小河川としては、堰湛水域が比較的少ない。三原川中流部は、希少な貝類の生息地。天然アユの遡上が確認された。

課題 瀬・淵の変化に乏しく河川形態が単調。一部区間では、横断工作物が高い密度で分布する（成相川中流部・三原川中上流部など）。強い濁りが頻繁にみられた。下流部はほとんどの地点が33℃を超える高水温。長田川上流部は、小河川としてはきわめて高水温。

04 大日川中流部

課題 井堰の取水により、夏季には広い範囲で濁水する。



*1 「通し回遊性」…海と川を往復する生活史を送る性質

全体区分

各調査結果を総合的に判断・整理したゾーニング

魚類・底生動物の現地調査地点

● 調査地点

回遊種の確認上限

▲▲ 近年の確認上限

▲▲ 過去の確認上限

植生から見た流程区分

ツルヨシ・ネコヤナギ型

移行帯

オギ・ツルヨシ型

感潮域

横断工作物の確認位置（水面比高0.2m以上）

○ 魚道あり

○ 魚道なし

間取調査による名前のある淵の現状

● 無くなった

● 浅くなった / 狭くなった

● 変わらない

● 不明

予察調査による河川環境の記録

課題が見つかった箇所

09 諭鶴羽山系の渓流域

保全 瀬・淵が比較的明瞭で、上流域らしい河川形態が認められる。水辺に自然林・二次林が接する場所が散在する。成相川上流部では、「名前のある淵」「長淵」「どんど」が残存している。



課題 成相川上流部の「名前のある淵」は矮小化している。上流域としては、底生動物の種数が少ない地点が多い。